

授業計画（シラバス）					
AI・コミュニケーション学科					
■科目	プログラミング応用		■講師名	西貝雅人	
2 年	30 コマ（1コマ90分授業）	総時間	60 時間	講義	4 単位
■学修概要					
応用的なパソコンの操作と基礎的なプログラミングの技術を理解する					
■授業目的、到達目標					
オフィス系アプリの活用と汎用言語によるプログラミングに習熟する					
■授業方法					
座学と演習を組み合わせた方法をとる。					
■教科書（書籍名・出版社）					
別途指示する					
■成績評価・講義上の注意					
授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。					
■実務経験					
学校法人東京農業大学 東京情報大学 元助教 合同会社GlobaleEdutech 代表					
■授業計画（講義の流れ）					
1	オリエンテーション				
2	パソコンの基本操作1 パソコンの仕組みや用語、操作をまなぶ				
3	パソコンの基本操作2 コマンドによるファイル操作をする				
4	アプリケーション操作1：ワードファイルの作成				
5	アプリケーション操作2：エクセルファイルの作成 データを入力する				
6	アプリケーション操作4：エクセルファイルの作成 テーブルを操作する				
7	アプリケーション操作5：エクセルファイルの作成 関数を使う				
8	アプリケーション操作6：プログラミングとは？				
9	プログラミング基礎1：JavaScriptを用いたプログラミング①				
10	プログラミング基礎2：JavaScriptを用いたプログラミング②				
11	プログラミング基礎3：JavaScriptを用いたプログラミング③				
12	プログラミング基礎4：JavaScriptを用いたプログラミング④				
13	プログラミング基礎5：JavaScriptを用いたプログラミング⑤				
14	前期振り返り				
15	前期試験				
16	前期振り返り				
17	プログラミング基礎6：Pythonを用いたプログラミング①				
18	プログラミング基礎7：Pythonを用いたプログラミング②				
19	プログラミング基礎8：Pythonを用いたプログラミング③				
20	プログラミング基礎9：Pythonを用いたプログラミング④				
21	プログラミング基礎10：Pythonを用いたプログラミング⑤				
22	発展演習①				
23	発展演習②				
24	発展演習③				
25	発展演習④				
26	発展演習⑤				
27	発展演習⑥				
28	後期振り返り				
29	全体振り返り				
30	試験				

授業計画（シラバス）					
AI・コミュニケーション学科					
■科目	情報セキュリティ応用		■講師名	西貝雅人	
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間	講義	2 単位
■学修概要 ネットワークと情報セキュリティに必要な知識と技術について学習する。					
■授業目的、到達目標 ネットワークの仕組みや種類、暗号化技術などについて理解し、情報技術者やIT産業に従事した際に、得られた知識や技術を活用できるになることを目標とする。					
■授業方法 座学と演習を組み合わせた方法をとる。					
■教科書（書籍名・出版社） ネットワークセキュリティ概論 井関文一（2022）コロナ社					
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。					
■実務経験 学校法人東京農業大学 東京情報大学 元助教 合同会社GlobaleEdutech 代表					
■授業計画（講義の流れ）					
1	オリエンテーション				
2	情報セキュリティとは				
3	ネットワークの基礎知識				
4	ネットワークの基盤技術 TCP/IPとは				
5	暗号化技術 1 その歴史				
6	暗号化技術 2 現在の概略				
7	コンピュータウイルスとマルウェアの違い				
8	ウェブアプリケーションのセキュリティホールとは				
9	近づいてはいけない場所：ダークウェブ				
10	電子メールのセキュリティ				
11	JSを用いた簡易的な承認技術の演習 1				
12	JSを用いた簡易的な承認技術の演習 2				
13	JSを用いた簡易的な承認技術の演習 3				
14	JSを用いた簡易的な承認技術の演習 4				
15	定期試験				

授業計画（シラバス）					
AI・コミュニケーション学科					
■科目	プログラミング実習Ⅱ		■講師名	西貝雅人	
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間	講義	2 単位
■学修概要 プログラミング言語の学習を通じてITリテラシーの向上を図る					
■授業目的、到達目標 pythonの基本文法をまなぶ					
■授業方法 座学と演習を組み合わせた方法をとる。					
■教科書（書籍名・出版社） ゲーム作りで楽しく学ぶ Pythonのきほん マイナビ出版					
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。					
■実務経験 学校法人東京農業大学 東京情報大学 元助教 合同会社GlobaleEdutech 代表					
■授業計画（講義の流れ）					
1	オリエンテーション				
2	パソコンの基本操作1 パソコンの仕組みやファイルの操作について確認する				
3	パソコンの基本操作2 プログラミングと開発環境について理解する				
4	プログラミング基礎1 Pythonとは				
5	プログラミング基礎2 四則演算と文字列の表示				
6	プログラミング基礎3 ファイルの作成と実行				
7	プログラミング基礎4 プログラミングの3つの基本				
8	プログラミング基礎5 変数とデータ型				
9	プログラミング基礎6 アプリ制作				
10	プログラミング基礎7 条件分岐1				
11	プログラミング基礎8 条件分岐2				
12	プログラミング基礎9 loop 1				
13	プログラミング基礎10 関数1				
14	プログラミング基礎11 関数2				
15	定期試験				

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目	Androidアプリ開発 I	■講師名	西貝雅人
2 年	15 コマ (1コマ90分授業)	総時間	30 時間 講義 2 単位
■学修概要 Androidアプリの開発に必要な基礎的な知識と技術について学習する			
■授業目的、到達目標 Androidアプリの開発にはJavaが用いられる。Javaは習得障壁がやや高い言語とされており、本講座では平易な説明で、わかりやすく習得できるように説明しながら学習を進める。			
■授業方法 基本的に演習を主体とする。			
■教科書（書籍名・出版社） スッキリわかるJava入門 フレアリンク株式会社			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 学校法人東京農業大学 東京情報大学 元助教 合同会社GlobaleEdutech 代表			
■授業計画（講義の流れ）			
1	Javaの基礎知識と基本構造：Javaはなんでもできる？		
2	開発環境／変数の宣言		
3	計算文とオペランド1		
4	計算文とオペランド2		
5	データ型と命令文の実行		
6	プログラムの流れとブロック		
7	if文／Loop		
8	配列		
9	メソッドとクラス1		
10	メソッドとクラス2		
11	メソッドとクラス3		
12	振り返り 1		
13	振り返り 2		
14	振り返り 3		
15	定期試験		

授業計画（シラバス）					
AI・コミュニケーション学科					
■科目	Androidアプリ開発Ⅱ		■講師名	西貝雅人	
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間	講義	2 単位
■学修概要 Androidアプリの開発に必要な応用的知識と技術について学習する。					
■授業目的、到達目標 Javaの学習の障壁の一つにオブジェクト指向、継承、多様性などの難解な概念がある。これらの点について噛み砕いて説明し理解を深めて、コードに落としこめるようにする。					
■授業方法 基本的に演習を主体とする。					
■教科書（書籍名・出版社） スッキリわかるJava入門 フレアリンク株式会社					
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。					
■実務経験 学校法人東京農業大学 東京情報大学 元助教 合同会社GlobaleEdutech 代表					
■授業計画（講義の流れ）					
1	オブジェクト指向 1 定義と効果				
2	オブジェクト指向 2 責務				
3	オブジェクト指向 3 機能				
4	クラスとインスタンス 1 仮想世界の作り方				
5	クラスとインスタンス 2 定義				
6	クラスとインスタンス 3 利用方法				
7	クラス機構とコンストラクタ				
8	継承 1 継承の基礎				
9	インスタンスの姿・継承とコンストラクタ				
10	多様性とは				
11	カプセル化				
12	コレクション				
13	例外①				
14	例外②				
15	定期試験				

授業計画（シラバス）					
AI・コミュニケーション学科					
■科目	iosアプリ開発 I		■講師名	西貝雅人	
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間	講義	2 単位
■学修概要 Androidアプリの開発に必要な基礎的な知識と技術について学習する					
■授業目的、到達目標 Androidアプリの開発にはJavaが用いられる。Javaは習得障壁がやや高い言語とされており、本講座では平易な説明で、わかりやすく習得できるように説明しながら学習を進める。					
■授業方法 基本的に演習を主体とする。					
■教科書（書籍名・出版社） スッキリわかるJava入門 フレアリンク株式会社					
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。					
■実務経験 学校法人東京農業大学 東京情報大学 元助教 合同会社GlobaleEdutech 代表					
■授業計画（講義の流れ）					
1	Javaの基礎知識と基本構造：Javaはなんでもできる？				
2	開発環境／変数の宣言				
3	計算文とオペランド1				
4	計算文とオペランド2				
5	データ型と命令文の実行				
6	プログラムの流れとブロック				
7	if文／Loop				
8	配列				
9	メソッドとクラス1				
10	メソッドとクラス2				
11	メソッドとクラス3				
12	振り返り 1				
13	振り返り 2				
14	振り返り 3				
15	定期試験				

授業計画（シラバス）					
AI・コミュニケーション学科					
■科目	iosアプリ開発Ⅱ		■講師名	西貝雅人	
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間	講義	2 単位
■学修概要 Androidアプリの開発に必要な応用的知識と技術について学習する					
■授業目的、到達目標 Javaの学習の障壁の一つにオブジェクト指向、継承、多様性などの難解な概念がある。これらの点について噛み砕いて説明し理解を深めて、コードに落としこめるようにする。					
■授業方法 基本的に演習を主体とする。					
■教科書（書籍名・出版社） スッキリわかるJava入門 フレアリンク株式会社					
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。					
■実務経験 学校法人東京農業大学 東京情報大学 元助教 合同会社GlobaleEdutech 代表					
■授業計画（講義の流れ）					
1	オブジェクト指向1 定義と効果				
2	オブジェクト指向2 責務				
3	オブジェクト指向3 機能				
4	クラスとインスタンス1 仮想世界の作り方				
5	クラスとインスタンス2 定義				
6	クラスとインスタンス3 利用方法				
7	クラス機構とコンストラクタ				
8	継承1 継承の基礎				
9	インスタンスの姿・継承とコンストラクタ				
10	多様性とは				
11	カプセル化				
12	コレクション				
13	例外①				
14	例外②				
15	定期試験				

AI・コミュニケーション学科

■科目	キャリアデザインⅢ		■講師名	山口 隆正	
2 年	15 コマ (1コマ90分授業)	総時間	30 時間	講義	2 単位
■学修概要					
『学生のための社会人入門』を中心のテキストとして、場面における日本語表現法、さらにコミュニケーションの上達を考慮し、口頭表現・敬語表現にも力を注ぎ、日本語力の向上を図る。					
■授業目的、到達目標					
『学生のための社会人入門』で社会へ出てからの規律・コミュニケーション能力の向上さらに敬語表現を駆使できる練習を重ねていく。					
■授業方法					
対面方式を取り、言語四技能の特に話す力・聞く力を向上させる授業展開をしたい。口頭表現練習を多く導入し、正確な表現力を身に着ける練習を重ねていきたい。					
■教科書（書籍名・出版社）					
『学生のための社会人入門』技術評論社 柴岡信一郎ほか 教員からのハンドアウトのプリント使用					
■成績評価・講義上の注意					
授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。					
■実務経験					
大学で学部生・大学院生・中国帰国者・日本語教師養成講座での30数年に亘る教鞭をとる。主に、文章表現法・日本語教育史・言語政策・総合日本語など担当する。この間、中国で1年間、日本語教育歴をもつ。サマースクールも実施。日本語テキスト6冊上梓。					
■授業計画（講義の流れ）					
1	オリエンテーション				
2	1-1	キャリアの行程①	電車の乗降表現 1	敬語とは	
3	1-1	キャリアの行程②	電車の乗降表現 2	敬語の種類	
4	1-2	就職活動と社会常識①	場所を尋ねる 1	敬語の尊敬表現 1	
5	1-2	就職活動と社会常識②	場所を尋ねる 2	敬語の尊敬表現 2	
6	1-3	分け隔てない対応①	買い物 1	敬語の謙譲表現 1	
7	1-3	分け隔てない対応②	買い物 2	敬語の謙譲表現 2	
8	1-4	採用担当者の声 ①	郵便局で 1	敬語の丁寧表現 1	
9	1-4	採用担当者の声 ②	郵便局で 2	敬語の丁寧表現 2	
10	1-5	面接・書類選考 ①	レストランで 1	敬語の美化語	
11	1-5	面接・書類選考 ②	レストランで 2	敬語の表記上の注意 1	
12	1-6	面接・書類選考 会話①	学食 1	敬語の表記上の注意 2	
13	1-6	面接・書類選考 会話②	学食 1	敬語の表記上の注意 2	
14	1-7	伸びる社会人 ①	図書館	動詞以外の尊敬語・謙譲語の作成	
15	前期定期試験				

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目 ビジネススキルⅡ	■講師名 丸山東人
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）
総時間	30 時間
講義	2 単位
■学修概要	
これから社会人になる学生が知っておきたい基礎を確認する。どの業種、職種にも援用できる形で、物事の分析と活用方法、キャリア形成、ICTリテラシー、グローバルな視点と実践法を取り上げる。	
■授業目的、到達目標	
授業目的：社会人として必要な基礎知識とスキルを習得する。	
到達目標：物事を分析・活用し、キャリア形成、ICTリテラシー、グローバル視点を実践に生かせるようになる。	
■授業方法	
講義と演習	
■教科書（書籍名・出版社）	
学生のための社会人入門、柴岡信一郎監著、技術評論社、2024	
■成績評価・講義上の注意	
授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。	
出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験	
講師は、大学と専門学校で保育士・幼稚園教諭・学校教員の養成に携わってきた経験や、教育学を専門に研究活動をしてきた経験を活かし授業を行う。	
■授業計画（講義の流れ）	
1 ガイダンス	
2 ビジネスコミュニケーションからみた社会人・学生の心得リテラシー	
3 ビジネスコミュニケーションからみた”手段と目的”と”必要な5つのS”	
4 自己理解、他者理解、仕事理解	
5 キャリアデザインー点と点が繋がる未来	
6 傾聴ー聞き上手は話し上手	
7 あなたが自分らしく幸せになるために	
8 異文化とは	
9 異文化からの警鐘	
10 自分かとの関係	
11 異文化への対応	
12 グローバルコミュニケーション	
13 留学生・外国人労働者との共生社会	
14 まとめ	
15 試験	

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目 プレゼンテーション	■講師名 丸山東人
2 年 15 コマ（1コマ90分授業）	総時間 30 時間 講義 2 単位
■学修概要 良好なコミュニケーションをするためには、印象良くかつ明確に自分の意思や考えを伝えると同時に、相手の意見を敬意を払いながら聴き、理解することが大切である。この授業では、勤務中の自己表現について、汎用性の高い考え方を解説し、そのスキルを身につける。	
■授業目的、到達目標 社会人として、時間、場所、状況に応じて、上司、部下、同僚、ステイクホルダー等、誰とでも良好な自己表現や意思伝達ができるようになる。	
■授業方法 講義と演習。授業の後半では、実践的な場面を想定した演習を行う。	
■教科書（書籍名・出版社） 学生のための社会人入門、柴岡信一郎監著、技術評論社、2024	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験 講師は、大学と専門学校で保育士・幼稚園教諭・学校教員の養成に携わってきた経験や、教育学を専門に研究活動をしてきた経験を活かし授業を行う。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	ガイダンス
2	キャリアの行程
3	就職活動と社会常識（分け隔てない対応、採用担当者の声）
4	就職活動と社会常識（面接、書類選考ー自己PR、会話ー）
5	伸びる社会人、伸びない社会人、直面するコミュニケーション事例、リーダーシップ
6	人前での話し方（雑音の排除、闇、箇条書き話法、キャッチフレーズ、結論を最初に）
7	人前での話し方（体の動き、声、視線合わせ、表情、まずは表現）
8	演習：自己分析Ⅰ
9	演習：自己分析Ⅱ
10	演習：一分間自己アピール
11	演習：一分間自己アピール
12	演習：面接でよく聞かれる質問
13	演習：面接でよく聞かれる質問
14	まとめ
15	試験

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目	プログラミング実習Ⅱ	■講師名	バンダリ サンジト
2 年	15 コマ (1コマ90分授業)	総時間	30 時間 講義 2 単位
■学修概要 Pythonの基礎を学習し、コマンドやファイルの実行、変数やデータ型、条件分岐や繰り返し処理、基本ライブラリについて学ぶ。			
■授業目的、到達目標 プログラミングの基礎を学び、Pythonを使った簡単なプログラムを作成できるようにする。			
■授業方法 パソコン実習			
■教科書（書籍名・出版社） 3ステップでしっかり学ぶPython入門・技術評論社			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 企業に勤務していた経験を活かし、講義を進めていく。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	条件分岐・反復処理 復習と演習		
2	条件分岐・反復処理 復習と演習		
3	関数 復習と演習		
4	関数 復習と演習		
5	配列と文字列 復習と演習		
6	配列と文字列 復習と演習		
7	プレースメントテスト		
8	プレースメントテスト		
9	配列と関数		
10	配列と関数		
11	ポインタ基礎		
12	ポインタ基礎		
13	ポインタと配列		
14	ポインタと関数		
15	定期試験		

授業計画（シラバス）

A I ・コミュニケーション学科

■科目	マーケティング	■講師名	バンダリ サンジト
2年	15 コマ（1コマ90分授業）	総時間	30 時間 講義 2 単位
■学修概要	多様化したマーケティングの考え方と全体像を把握。売れるモノづくりの仕組みを理解し、様々なビジネスについて考える力を培う。		
■授業目的、到達目標	企業と小売業のマーケティングの取り組み方は異なるが、消費者ニーズ優先の考え方は変わらない。価格設定などの4 P、売場の3 P 戦略など様々な実践的ノウハウを学び、経営感覚を身に付ける。		
■授業方法	講義、演習。		
■教科書（書籍名・出版社）	教科書は使用せず、都度資料を配布。		
■成績評価・講義上の注意	定期試験、課題提出、出席率、授業態度で総合判断。		
■実務経験	企業に勤務していた経験を活かし、学生に寄り添いながら講義する。		
■授業計画（講義の流れ）			
1	マーケティングとは。売れるモノの仕組みづくり & 概念の変遷。		
2	マーケティングの進め方：市場調査とSTP／4 P 。 企業と小売業の違い。		
3	STP①セグメンテーション（市場の細分化）＝4つの分け方。		
4	〃 ②ターゲティング（誰に買ってもらうか）＝POSとワン・to・ワンマーケティング		
5	〃 ③ポジショニング（どんな価値をアピールするか）＝競争戦略パターン。		
6	4 P①プロダクト＝製品ライフサイクル、製品開発。		
7	〃 ②プロモーション＝AIDSなど。		
8	〃 ③プライス＝損益分岐点、値段の付け方。		
9	〃 ④プレイス＝メーカーと小売業の流通チャネル。		
10	製品ライフサイクル & コトラーの4つの競争地位。		
11	BCGマトリックス		
12	SWOT分析＝強みと弱み。		
13	課題①		
14	〃 ②		
15	定期試験		

AI・コミュニケーション学科

■科目		英語表現Ⅱ		■講師名		森山繁	
2 年		15 コマ（1コマ90分授業）		総時間		30 時間 講義 2 単位	
■学修概要							
英文法の基礎を中心にビジネスの現場での使用が想定される語彙も含めて学習する。							
■授業目的、到達目標							
基礎的な英文法のマスターと英語で使用される音声を知る。							
■授業方法							
音声教材を使用してコミュニケーション的な演習と同時にテーママイの文法学習を段階的に進める。							
■教科書（書籍名・出版社）							
TOEIC受験対策で用いられる教材							
■成績評価・講義上の注意							
出席日数、授業態度、作成物で総論的に評価							
■実務経験							
講師は、10年間の海外留学、10年以上国内での大使館勤務、通訳者（NHK、民法各社）の実績を踏まえ、通訳や国際交流活動の実務者の観点から講義を行う。 文化交流を目的とした団体「非営利活動法人南アジア文化協会」理事長。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	英文法1						
2	英文法2						
3	英文法3						
4	英文法4						
5	英文法5						
6	英文法6						
7	英文法7						
8	英文法8						
9	英文法9						
10	英文法10						
11	英文法11						
12	英文法12						
13	復習1						
14	復習2						
15	試験						

AI・コミュニケーション学科

AI・コミュニケーション学科

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目	総合演習 I	■講師名	伊藤敏朗
2 年	30 コマ（1コマ90分授業）	総時間	60 時間 講義 4 単位
■学修概要 日本語能力検定試験1級（N1）程度で求められる、日本語会話の自然に近いスピードの会話のシチュエーショントークを、映像技術も用いながら実践的に学習する。			
■授業目的、到達目標 日本における就業や資格取得においても求められる流暢な日本語能力を身に着ける。あわせて会話状況における対人的な配慮のある実用会話のありかた、さらには日本の風俗・習慣への対応能力の獲得をととして、日本にたいする歴史的・文化的な理解なども総合的に学んでいく。			
■授業方法 教室内で毎週、数人を指名して、グリーンバックを背景としたシチュエーショントークをおこなって映像記録し、これを分析的に評価・改善指導を加えていく。			
■教科書（書籍名・出版社） 特になし			
■成績評価・講義上の注意 授業への積極的・協力的な参加姿勢、ならびに自由会話の組み立て能力へを評価する。出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 （講師の実務経験）学会発表・公開講座において動画を含めた演示を永年実施してきた。 （学生の実務経験）日本語能力検定試験4級（N4）～3級（N3）程度の日本語会話能力			
■授業計画（講義の流れ）			
1	ガイダンス		
2	シチュエーショントーク1： コンビニにて①		
3	シチュエーショントーク1： コンビニにて②		
4	シチュエーショントーク2： ゴミ捨て場にて・神社のおまじりのしかた①		
5	シチュエーショントーク2： ゴミ捨て場にて・神社のおまじりのしかた②		
6	シチュエーショントーク3： 「これはリンゴじゃない？」「いえ、これはミカンです」①		
7	シチュエーショントーク3： 「これはリンゴじゃない？」「いえ、これはミカンです」②		
8	シチュエーショントーク4： 「僕はうなぎだ」「君は豚？」①		
9	シチュエーショントーク4： 「僕はうなぎだ」「君は豚？」②		
10	シチュエーショントーク5： 「暑いですねえ」「はいはい、いまクーラーつけます」①		
11	シチュエーショントーク5： 「暑いですねえ」「はいはい、いまクーラーつけます」②		
12	シチュエーショントーク6： アニメーションの一場面に入り込む①		
13	シチュエーショントーク6： アニメーションの一場面に入り込む②		
14	シチュエーショントーク7： 相撲観戦・道をたずねる・電車に乗る①		
15	シチュエーショントーク7： 相撲観戦・道をたずねる・電車に乗る②		
16	前期振り返り		
17	自分の国や故郷の風景や文化を紹介する（1）		
18	自分の国や故郷の風景や文化を紹介する（2）		
19	自分の国や故郷の風景や文化を紹介する（3）		
20	感想会		
21	自由なアイデアで会話する（1）		
22	自由なアイデアで会話する（2）		
23	自由なアイデアで会話する（3）		
24	自由なアイデアで会話する（4）		
25	自由なアイデアで会話する（5）		
26	日本語表現の特質を考える（まとめ）		
27	日本語表現の特質を考える（まとめ）		
28	全体振り返り①		
29	全体振り返り②		
30	試験		

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目	総合演習Ⅱ	■講師名	丸山東人
2 年	45 コマ（1コマ90分授業）	総時間 90 時間	講義 6 単位
■学修概要 ITパスポート対策や留学生の日本語能力検定試験対策として、講義を進める。ほか、一週間の学習の振り返りや、学習上の悩み・疑問点等を解消する時間に充てる。			
■授業目的、到達目標 授業目的：ITパスポート試験や日本語能力検定試験の対策を通じ、知識向上と学びの自律性を養う。 到達目標：基礎知識の習得と学習課題の自己解決能力を身につける。			
■授業方法 講義、演習、ディスカッション、質疑応答等。ノートかメモ用紙を必ず用意すること。			
■教科書（書籍名・出版社） 必要に応じて資料配布			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 講師は、教育学（AIやICT機器の利活用を含む）を専門に研究活動をしてきた経験を活かし授業を行う。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
2	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
3	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
4	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
5	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
6	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
7	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
8	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
9	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
10	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
11	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
12	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
13	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
14	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		
15	ITパスポート対策、授業の復習, 日本語能力試験対策 or 学習相談		

[illegible]

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目 総合演習Ⅱ	■講師名 煤村麻里子
2 年	15 コマ（1コマ90分授業）
■学修概要 ITパスポート対策や留学生の日本語能力試験対策として、講義を進める。	総時間 30 時間 講義 2 単位
■授業目的、到達目標 日本での就業に際し身につけておくべきビジネススキルの基礎と対話能力、さらにはITスキルの基礎を備えて、自らの意志や意見を論理的かつ礼節をもって正しくアピールできるようになる。	
■授業方法 資料を配布し、それに沿って学習を進めていく。	
■教科書（書籍名・出版社） 留学生のためのExcelドリルブックーExcel2019対応（カットシステム）	
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の2/3以下の場合は成績評価の対象外となる。	
■実務経験 大学と専門学校で、情報処理・パソコン講師勤務経験を活かし、社会人として必要なパソコンスキル取得のための授業を行う。	
■授業計画（講義の流れ）	
1	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
2	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
3	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
4	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
5	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
6	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
7	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
8	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
9	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
10	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
11	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
12	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
13	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
14	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策
15	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策

AI・コミュニケーション学科

■科目		総合演習Ⅲ		■講師名		丸山東人	
2 年		30 コマ (1コマ90分授業)		総時間		60 時間 講義 4 単位	
■学修概要							
ITパスポート試験対策、日本語能力試験対策、授業内容の復習を通じて基礎知識を強化する。学習上の悩みを解消し、外国人留学生在が日本での生活や就労に役立つ力を養う。総合演習Ⅱを発展させた学びの場としたい。							
■授業目的、到達目標							
授業目的：ITパスポート試験や日本語能力試験の対策、授業復習を通じ、学びの基盤と実践力を養う。 到達目標：基礎知識を習得し、日本での生活や就労に役立つ力を身につける。							
■授業方法							
講義、演習、ディスカッション、質疑応答等。ノートかメモ用紙を必ず用意すること。							
■教科書（書籍名・出版社）							
必要に応じて資料配布							
■成績評価・講義上の注意							
授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。							
■実務経験							
講師は、教育学（AIやICT機器の利活用を含む）を専門に研究活動をしてきた経験を活かし授業を行う。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
2	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
3	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
4	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
5	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
6	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
7	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
8	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
9	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
10	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
11	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
12	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
13	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
14	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
15	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
16	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
17	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
18	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
19	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
20	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
21	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
22	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
23	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
24	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
25	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
26	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
27	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
28	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
29	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						
30	ITパスポート対策、授業の復習、日本語能力試験対策 or 学習相談						

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目		総合演習Ⅲ		■講師名		秋山建一	
2 年		30 コマ（1コマ90分授業）		総時間		60 時間	講義 4 単位
■学修概要 ITパスポート対策や留学生の日本語能力試験対策として、講義を進める。							
■授業目的、到達目標 日本での就業に際し身につけておくべきビジネススキルの基礎と対話能力、さらにはITスキルの基礎を備えて、自らの意志や意見を論理的かつ礼節をもって正しくアピールできるようになる。							
■授業方法 資料を配布し、それに沿って学習を進めていく。							
■教科書（書籍名・出版社） 資料配布							
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の2/3以下の場合は成績評価の対象外となる。							
■実務経験 企業に勤務していた経験を活かし、学生に寄り添いながら講義を進めていく。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
2	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
3	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
4	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
5	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
6	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
7	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
8	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
9	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
10	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
11	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
12	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
13	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
14	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
15	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
16	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
17	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
18	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
19	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
20	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
21	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
22	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
23	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
24	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
25	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
26	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
27	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
28	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
29	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						
30	ITパスポート対策 or 日本語能力試験対策						

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目	卒業研究	■講師名	バンダリ サンジト
2年	30 コマ（1コマ90分授業）	総時間	60 時間 演習 4 単位
■学修概要 学修の総まとめとして、これまでに修得した知識を基盤として、総合的な実力を育成する。			
■授業目的、到達目標 これまでに修得した知識を、専門分野に関する最先端の実験研究を通じて実習・応用することができる。			
■授業方法 講義と演習を組み合わせた方法をとる。			
■教科書（書籍名・出版社） ゲーム作りで楽しく学ぶPythonのきほん マイナビ出版			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体2/3以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 企業に勤めていた経験を活かし、授業を進めていく。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	ガイダンス/環境構築		
2	python の基本		
3	python のインストール		
4	IDLE の操作		
5	コーディングの基本		
6	コーディングの基本		
7	ファイルの基本・保存		
8	変数		
9	変数		
10	変数		
11	図形や文字、画像の描画		
12	図形や文字、画像の描画		
13	図形や文字、画像の描画		
14	グラフィックスを動かす		
15	グラフィックスを動かす		
16	グラフィックスを動かす		
17	input 文		
18	input 文		
19	input 文		
20	if 文		
21	if 文		
22	if 文		
23	ランダム		
24	ランダム		
25	ランダム		
26	while 文		
27	while 文		
28	関数		
29	関数		
30	まとめ		

授業計画（シラバス）

AI・コミュニケーション学科

■科目	卒業研究	■講師名	丸山東人
2 年	30 コマ（1コマ90分授業）	総時間	60 時間 講義 4 単位
■学修概要 3年間の本学での学びをまとめる授業である。入学後からの学びの内容の確認、疑問点の解消、就職活動への方向性を明確にしてゆき、最終的に一定の成果を生み出す。加えて、各自の国際性を高めるために、異文化コミュニケーションに関する演習も実施する。			
■授業目的、到達目標 ・ AIコミュニケーションに関し、専門性を高め、一定の成果を生み出す。 ・ 国際社会で活躍できるスキルを修得し使えるようになる。			
■授業方法 ・ 講義とディスカッション ・ AIコミュニケーションに関することであれば、何に取り組んでも容認する。例えば、アプリ制作、資格試験勉強など。進捗状況を確認するため、ノートを一冊用意すること。			
■教科書（書籍名・出版社） 指定しない。（これまで購入した教科書を用いる）			
■成績評価・講義上の注意 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。 出席が全体の3/2以下の場合は成績評価の対象外となる。			
■実務経験 講師は、教育学（AIやICT機器の利活用を含む）を専門に研究活動をしてきた経験を活かし授業を行う。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	ガイダンス		
2	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
3	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
4	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
5	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
6	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
7	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
8	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
9	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
10	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
11	学習内容の確認（AIコミュニケーション関連）、異文化コミュニケーション（演習）		
12	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
13	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
14	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
15	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
16	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
17	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
18	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
19	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
20	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
21	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
22	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
23	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
24	卒業制作（AIコミュニケーション関連）、グローバル人材を目指して（演習）		
25	発表（学びの成果をプレゼンテーションする）		
26	発表（学びの成果をプレゼンテーションする）		
27	発表（学びの成果をプレゼンテーションする）		
28	発表（学びの成果をプレゼンテーションする）		
29	発表（学びの成果をプレゼンテーションする）		
30	発表（学びの成果をプレゼンテーションする）		